

# 精華町文化財保存活用地域計画 (案)

令和7年(2025)6月現在

精華町教育委員会



## 精華町文化財保存活用地域計画 目次（案）

序章 計画の目的と位置づけ	1
第1節 計画作成の背景と目的	1
第2節 計画の位置づけ	2
第3節 計画期間	7
第4節 計画作成の経緯と体制	8
第5節 用語の定義	10
1 文化財保護法が対象とする文化財	10
2 その他の宝もの	10
3 本計画が対象とする「精華町の宝もの」	10
4 精華町の歴史文化	11
第1章 精華町の概要	13
第1節 自然的・地理的環境	13
1 位置と面積	13
2 沿革と町名	14
3 地名	15
4 地形	16
5 地質	17
6 気候	18
7 生態系	18
8 本町を取り巻く災害の概要	21
第2節 社会的状況	23
1 人口動態	23
2 産業	24
3 交通	29
4 土地利用	32
5 景観	33
6 公共施設	33
第3節 歴史的背景	34
1 先史（旧石器・縄文・弥生・古墳時代）	34
2 古代（飛鳥・奈良・平安時代）	36
3 中世（鎌倉・室町・戦国時代）	38
4 近世（安土桃山・江戸時代）	40
5 近代（明治・大正・昭和戦前）	41
6 現代（昭和戦後・平成・令和）	42

第2章 精華町の宝ものの概要	45
第1節 指定等文化財	45
第2節 未指定文化財・その他の宝もの	49
第3節 その他の関連制度	50
1 日本遺産	50
2 京都の自然 200 選	50
3 都市景観大賞「都市景観 100 選」	50
4 京都府景観資産	51
第4節 類型ごとの概要	52
1 有形文化財	52
2 民俗文化財	59
3 記念物	61
4 文化的景観	66
5 文化財環境保全地区	67
6 その他の宝もの	67
第3章 精華町の歴史文化の特徴	77
第1節 精華町の歴史文化をとらえる5つの特徴	77
第2節 歴史文化の特徴と関連する精華町の宝もの	79
交流① 京都・大阪・奈良 3つの都市の中間地帯	80
交流② 国内外さまざまな地域との交流	82
自然① 木津川とともに歩むまち	84
自然② 隣り合う里山	86
信仰① 絆を育み伝統を伝える神社	88
信仰② 宝を受け継ぐ寺院	90
人① 山城国一揆と中世惣村	92
人② 村の歩みを伝える古文書	94
人③ 町名の由来と学校	96
景観 学研都市と田園の景観	98
第4章 これまでの調査と取組	101
第1節 これまでの調査の概要	101
1 調査の概要	101
2 把握調査の状況	106
第2節 取組の現状	108
1 修理	108

2	公開・発信	108
3	普及・教育	111
4	住民団体による取組	112
5	観光との連携	113
6	防災・防犯の取組	113
第5章 保存・活用に関する基本理念・将来像		117
第1節	基本理念	117
第2節	将来像と基本目標	118
第6章 保存・活用に関する課題と方針		121
第1節	課題	121
1	基本目標①に関する課題	121
2	基本目標②に関する課題	122
3	基本目標③に関する課題	123
4	基本目標④に関する課題	124
5	基本目標⑤に関する課題	125
第2節	方針	127
1	方針1「知る・調べる・広める」	128
2	方針2「愛する・学ぶ・活かす」	128
3	方針3「育てる・つなぐ・創る」	129
4	方針4「備える・防ぐ・守る」	130
5	方針5「直す・遺す・伝える」	130
第7章 保存・活用に関する措置		133
第1節	措置の考え方	133
第2節	精華町の宝ものの保存・活用に関する措置	133
1	方針1「知る・調べる・広める」に関する措置	134
2	方針2「愛する・学ぶ・活かす」に関する措置	135
3	方針3「育てる・つなぐ・創る」に関する措置	136
4	方針4「備える・防ぐ・守る」に関する措置	137
5	方針5「直す・遺す・伝える」に関する措置	138
第8章 保存・活用の推進体制		139
第1節	各主体の役割・関係組織の状況	139
第2節	保存・活用の推進体制・自己評価の方法	142
第3節	有事の際の体制	143

